

平成 27 年 1 月 21 日

日本ゴルフサミット会議参加団体 各位

ゴルフ市場活性化委員会
公益社団法人 日本プロゴルフ協会

平成 26 年 11 月 25 日開催の「平成 26 年第 3 回日本ゴルフサミット会議」において決議された事項に基づき、下記の提案を提出致します。

記

「ゴルフの普及」（ゴルフの国民的スポーツとしての実現）には、「他のスポーツの普及」と同一の**社会的貢献効果**（スポーツを通しての人格形成や健康増進など）に加え、ゴルフ場の持つ緑化機能による**環境維持貢献効果**（地球温暖化防止効果など）とゴルフ関連産業（ゴルフ場・ゴルフ用品・ゴルフ練習場・ゴルフ場等の資材産業などの産業分野）による**経済的貢献効果**がある。そして、「ゴルフの普及」と「他のスポーツの普及」と相違する点は、前述の**環境維持貢献効果と経済的貢献効果が大きい**ことにある。

「ゴルフ市場活性化委員会（GMAC）」と「公益社団法人日本プロゴルフ協会（PGA）」は、**経済的貢献効果実現に焦点を絞って提案**を行います。

【提案の前提】

*17 団体の共通認識の必要性

「日本ゴルフサミット会議」に参加する 17 団体が取り組まなければならない「ゴルフ活性化」へのテーマを共通認識とする必要があると考え、GMAC 及び PGA では、既に各団体で取り組んでいること、並びに、今後取り組まなければならない戦略目標(テーマ)を次の 3 項目とし、各々の戦略目標に対する戦術課題を整理して今後の活動を展開することを提案します。

(図表参照)

テーマⅠ. ゴルフ需要の拡大

(新規ゴルファーの創造・プレー回数増加とリタイアの防止)

テーマⅡ. ゴルフの魅力アピールとイメージアップ

(社会貢献のアピール・トッププレイヤーの強化による魅力発信)

テーマⅢ. ゴルフを取り巻く外的・内的活性化への障壁排除

尚、今般の提案は、17 団体が戦略目標並びに戦術課題を共有することにより、各団体や団体間の連携で実施される具体的な施策(企画)がどの戦術課題に対応するかを明確化し、実施施策(企画)の実効性を高めることを目的としたものです。

特に、基本的な考え方を共有することにより、団体間の連携促進が図られる可能性が高くなると考えます。

***既設の施策との整合性に配慮**

例えば、「テーマⅠ. ゴルフ需要の拡大」に含まれる「ジュニア層の開拓」という戦術課題の場合、既にそれを目的とした団体が複数活動を行っていることや、各団体においても独自の活動を展開している。

したがって、他の戦術課題についても同様に、施策（企画）面の実施や計画事項を戦術課題に連動させた一覧表が出来上がれば極めて有効なものとなると考えますが、現状では調査と様々な調整が必要となるため、団体ごとに実施中あるいは実施予定の具体的施策の表記は敢えて除外しました。

（今後、「日本ゴルフサミット会議 運営会議」の活動テーマとして、現状実施されている施策を取り纏める仕組みを構築することを検討するよう提案致します。）

***PGA・GMACからの具体的施策提案について**

「平成26年第3回日本ゴルフサミット会議」において、PGA並びにGMACに対して付託された事項は、「テーマⅠ. ゴルフ需要の拡大」、いわゆる「ゴルフ人口の拡大と維持」について、現状実施しようとしている施策（企画）を提案することとあります。

したがって、別図の通り、各戦略目標について戦術課題を掲げ、各々の戦術課題についてPGA・GMACで検討している具体的施策（企画）を列挙いたしました。

今般、列挙致しました施策（企画）は、17団体が共有出来る施策であり、各団体での応用が可能で協力体制が組め、かつ、直接的な活動が無理でも応援体制が取れるものを提案施策と致しましたので、協力並びに応援をお願い申し上げます。

力が分散すればするほど効果は薄くなります。平成27年の重点項目を定めて、17団体が統一もしくは相互に補完した活動が出来ればと考えております。